

# 自律の気概あふれる まちをめざして

～ この町に誇りと愛着を持って  
皆さんの知恵を行動に ～

企画振興課 ☎ 52 6552

町では、昨年末から「自律のまちづくり」をめざし歩み始めました。現在、「自律のまちづくり住民懇話会」と、職員による「自律のまちづくり計画検討チーム」を中心に取り組みを進めています。

## 日野町が掲げる「自律」

— 自分たちのまちのことは  
自分たちで決める —

「自律」とは、自分で立てた規範に従って、自分のことは自分でやっていくこと。「自律のまちづくり」は、「自ら治める（住民）自治」の姿だと考えています。

住民の皆さんは、税金などを支払

い行政サービスを購入する「顧客、お客様」でなく「主権者（まちづくりの主人公）」です。参画と協働、情報の共有を徹底して、「自分たちの地域にあった公共の役割は何か」を議論し、持続的に発展できるまちづくりを進めていきます。

## 自律のまちづくり住民懇話会

第2回懇話会（1月）では、第4次日野町総合計画との関係を整理しました。総合計画は、住民議論と町議会の議決を経て、平成13年から22年までの町のあるべき姿を定めたものです。町の行政施策は、この計画に基づいて実施しています。

総合計画の実施状況を確認し、まちの現状をふまえ、厳しい情勢変化に対応する総合計画の実行プログラムとして「自律のまちづくり計画」の位置づけについて議論しました。



▲第3回自律のまちづくり住民懇話会では、委員全員からの提案をいただきました。

第3回懇話会（2月）では、各委員からまちづくりへの思いや提案を受け、助言者の宗野先生により論点が整理されました。今後はテーマを①次世代育成支援（住民主体の運営）②行財政改革（行政、住民の双方が知恵を絞るコストを削減し、コンパクトに生きる）③特産品振興（資源の発掘、活用）にまとめ、防災、自治体内分権なども含めて議論することになりました。

## 自律のまちづくり計画検討チーム

— 全事務事業の見直しと  
職員の意識改革 —

役場内では、住民の暮らしをサポートすることを基本に、健全財政に向けて、全職員により事務事業を見直し、意識改革に取り組んでいます。

「計画検討チーム」は、職員29名が各担当課の950余の事務事業点検・評価に対して客観的に検証しています。さらには、庁内議論を重ね、課題を明らかにして「自律のまちづくり計画（素案）」を作成していきます。

今後は、住民懇話会で内容を深めながら、今夏をめどに「自律のまちづくり計画（案）」を作成し、議会や住民の皆さんとの議論を通じ、平成17年中に取りまとめる予定をしています。

## 自律のまちづくりの条件

— 身近だからこそ

住民の声がよくとおる —

私たちの社会は、経済の右肩上がりの時代が終わり、人口減少社会が目前に迫っています。行政は、限られた財源を有効に活用し、地域の実情に即した対応をしなければなりません。このためには、施策の実施方法も含めて、住民の皆さんの知恵と行動が必要です。

幸い、日野町は、公民館や町全域を通じて自主的な活動が盛んで、自律の気概にあふれています。

地域の発展には、広い範囲での人・物・情報の活発な交流も必要ですが、地域内資源の活用や循環、都市と農村の交流や補完を重視してきた地域がまちづくりに成功しています。

町には、自然・歴史・文化、地産地消・相互扶助など、誇りとし、活用できるものがたくさんあります。工業団地や農業公園などとあわせ、均衡あるまちづくりが期待できます。

このように、先人と住民の皆さんの日々の努力の積み重ねによって、自律のまちづくりの基礎となる条件は整っています。町の良いところを生かし、協働によるまちづくりへ向けてみんなで取り組んでいきましょう。

